

微笑庵便り 2019年5月号

仏像彫刻のすすめの巻末に宗教芸術院の教室一覧がありました。早速東京支部の事務局に連絡してみたところ、なんと教室が中野にあるとのこと、確かレッスン日は土曜日だったような気がしますが、喜び勇んでその週末には入会してしまいました。

場所は現 JR 中野駅の線路際、東中野方面に少し行った所で[栢美]という書道専門店の2階でした。書道の作品などを書いたりするという30畳ほどの部屋で、ここは連絡事務局を担っていた方の奥様が書道の先生でその方のご縁で使わせていただいていたようです。

教室は月3回、先生がお二人で、3回のうち2回はどちらかの先生お一人ずつ、そして月に1度は二人の先生がご一緒でした。生徒は大体30人くらいだったような気がします。先生が前に座っていらして、生徒は並んでみていただく順番を待つ感じ。ベテランの生徒さんは作品も大きく難しいものを持ってくるので、レッスンの時間も長いのですが、初心者などはまさに一瞬、3時間あっても実際に見ていただくのはほんの数分だったような気がします。それでもそうして私の仏像彫刻は始まりました。

ただ、人形のほうも、なかなか“ハイ辞めます”というわけにもいきませんので、結局2年半くらいはダブっていたのですが、もう私自身の気持ちは完全に仏像にのめりこんでいました。今は人形を作ることはありませんが、人形を作っていたころの私の好きだったテーマの一つが子供です。今も“こじぞうさん”や幸福地蔵を彫っていますし、この微笑庵便りの絵にもこじぞうさん登場しています。根っこにあるものって何年たっても案外変わらないものなのかもしれませんね。



心も空っぽ天まで
登れ



お腹空っぽ鯉のぼり